

令和7年3月24日

第5回学校運営協議会記録

1 委員長挨拶

1年間で最後の会議となる。今日も活発な意見交換をしたい。

2 校長挨拶

明日修業式を迎える。卒業生は第一次募集の段階で進路が決まった。

1年間ありがとうございました。

3 学校評価（最終）

事前配布資料に基づき、説明。クロムブックを有効活用するという点では、もう一歩であった。防災訓練等、参加する生徒に偏りがでている。

学校評価を学校だよりとして保護者に配信した。どの項目も、評価が上がっているが回答数は減っている。回答率を上げることが課題である。ただ、自由記述は増えている。

4 来年人事について

3月20日にメール配信にて保護者向けにお知らせを行った。退職教員、異動教員、着任教員、新規採用教員について校長より報告があった。学年の教員構成は、基本的に大きく変更しない方針で考えている。宿泊行事の関係から、男女バランスも考慮する。来年度は、主幹教諭が4人の配置となる。新任副校長と連携しながら今後も対応していきたい。

5 来年度に向けた協議

令和7年度方針については大きく変更する予定はない。ボランティア参加する生徒についても、生徒が自らボランティア活動を考えたり、見つけたりできるような仕掛けをしていきたい。

幼保中の連携も興味がある。

不登校対策について、対応を強めていきたい。ボランティアについてもご協力をいただきたいと呼びかけがあった。大学生ボランティアがみな4年生であったため、新たに募集をしたい。

委員

不登校について、委員からの紹介もある予定。

大学生にボランティアに来てもらうためにはどうしたらよいか、大学生に相談した。

学食に貼ってあるポスターはよく見ているので、貼ってもらってはどうか。学生課に行く。不登校に関しては、研究している学生もいる。

委員

貫井の盆踊りにボランティアを呼びかけてはどうか。検討をしてほしい。終了時間は、20:30。準備は土曜日午前中、片付けは月曜日。

委員

夜に親公認で外出できる機会なので、役割を明確にすると良いと思う。

委員

一年間の募集ボランティア活動予定を事前に一覧にすると良い。

委員

貫井神社の例大祭でもやり方によっては活動してもらうことが可能。

委員

福祉系ボランティアもたくさんあるので、情報を入手し、提供する。

校長

事前の教員の対応の在り方が課題になっている。大人がお膳立てをして、生徒が単に参加するのではあまり意味がないように思う。

委員

生徒会など、委員会などで取り組みができないものか。

委員

諸外国ではボランティアをしていないと進学できないところもある。

校長

他校であるような生徒会に投げてしまう対応は避けたい。ボランティアの意義など生徒も理解できていないところが、教員の中にも理解できていない者もいる。

委員

地域未来塾について、5月から実施。48回実施。学習支援の必要な生徒に放課後を使った学習支援。登録107人、未登録7人のべ、442人、平均9人、成人6名、学生9名、平均3.7人。学校の宿題、英語、数学の補習、定期テストの対策、塾の宿題、班活動の作業など。1年が多かった。居場所的な雰囲気にもなった。新1年も迎え、活動をしっかり定着させたい。保護者会にて説明を行う。英語の先生から、成績も上がっている。数学も上がっている。居場所としても大切な場所にしたい。

校長

単なる居場所ではなく、少しハードルを作りたいと思っている。ぜひ続けたいと思っている。水曜日に部活のある子はぜひ参加してほしいと思っているので、周知していく。

委員

コーディネーター会議で、きちんと成果が出ていて活動しているのが南中との紹介があった。

委員

地域が学校の大変な部分を担うのは違うので、いろんな教え方があって、外注でもなく、先生の補助でもないというところを目指したい。

委員

音楽の先生が転任されるとのことで、有志合唱の保護者からも心配される声があった。先生が変わっても続けられる仕組みを考えてほしいと提案があった。

校長

心情的に理解できるが、教員の異動はつきものである。保護者にも続けられない可能性があることを伝えている。有志合唱については、部活動に準ずるものと考えていて検討をしている。人数が多いことが逆にひとつネックになっている。

委員

居場所について、何年か前から委員会でも取り上げており、児童館の役割も大きい。子どもたちが活発にどこかで過ごせるように、この協議会でも取り上げて行きたい。

6 情報交換

委員

4・29に大沢神社例大祭。3年前から舞台を作っていたが、阿波踊りに特化するようになった。4連を呼び、貫井囃子も出る予定。生徒のボランティアも検討していきたい。

委員

面接練習について、今年は11月くらいに実施したいと先生から要望があった。大人のボランティアを募ったことで、中学生も大人と同じように、不安に思っ、緊張をしたことがよくわかった。

4. 26 健全育成委員会

校長

1年間ありがとうございました。今後ともご支援お願いいたします。